

北後志消防組合積丹支署（傍谷支署長・署員17名）は、7月20日に行われる『全道消防救助技術訓練指導会』の出場に向けた選考会を行いました。

この指導会は、全道の消防救助隊員が競い合い、他の模範となる消防救助隊員を育成することを目的としています。今年「ほふく救出」の部で1隊の出場枠を賭け、A隊（増

山雅志隊員・佐々木啓仁隊員）とB隊（眞酒谷勇喜隊員・角田陶宗隊員）の中から選考を行い、A隊が出場することになりました。

日常の消防業務で「競う」という機会が少ない中での選考会には、「ほふく救出」の技術はもちろん、精神力も養うことができ、今後の活動にも活かせる内容でした。



▲ほふく救出訓練の様子

2人の消防隊員の全道大会での活躍を期待しましょう。

あなたの財産を孫子の代まで守るため！ 「日司地区地籍調査事業」に着手

地籍調査事業の目的

- ①土地取引の円滑化
- ②土地トラブルの未然防止
- ③災害復旧の円滑化
- ④課税の更なる適正化
- ⑤公共事業の円滑化
- ⑥町づくりや政策立案の基礎データ

今年度から4地区目となる日司地区市街地の『地籍調査事業』が3年計画で始まりま

す。土地は、現地と登記所地図、登記簿等が合致していなければなりません。町内で地籍調査が未実施地区の土地は、大正10年に道が作成した地図

を基本として、土地売買や公共事業の用地取得、課税などが行われているため、現地と登記所の地図、登記簿等の不一致によるトラブルが生じる場合が多くあり、時間が経つほど複雑となるため、解決が困難となります。

「地籍調査事業」は、このような不一致を解消するためのもので、国土調査法に基づいて国の補助金を活用して、町が実施する事業で

す。人工衛星を利用した高度な測量技術と最新測量機器を用いながら、土地一筆毎に、所在・地番・地目・境界を所有者等の立会のうえ調査・確認するほか、分筆・合筆・地目変更も併せて行います。

「土地の境界」は決して役場の担当者が決定するものでなく、最新の測量調査結果に基づき、隣接する土地所有者同士が現地立会のもと、両者が納得したうえで決定されます。

初年度の今年は測量調査のため、町が委託した測量



▲日司町の集落（空撮）

業者が所有地内に立ち入ることになります。見通しの悪いところでは雑木の枝払い、雑草の刈り払いをさせてもらうこともありますのでご協力ください。

なお、測量業者は必ず「土地立会証」を携行し、蛍光ピンク色の「腕章」を着用しています。

（詳細は4月26日に日司地区の各戸に配付している『地籍調査のあらまし』をご覧ください。）



▲住民説明会の様子（4月24日・日司町）

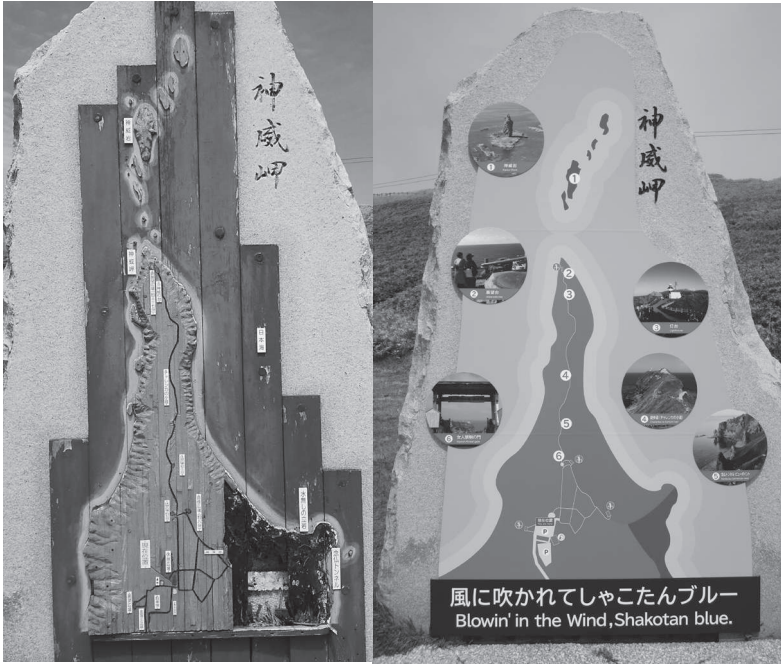
善意の募金が“神威岬” をきれいに!!

風雪に耐えた“モニュメント”を修復

～町自然環境保全協議会～

平成6年に神威岬自然公園の整備を記念して設置されたモニュメント（写真左）は、毎年多くの観光客が訪れる神威岬全体の案内と写真スポットの大切な役割を担ってきましたが、25年間の風雪に耐え、老朽化が進んでいました。

町自然環境保全協議会



▲修復前

▲修復後

風に吹かれてしゃこたんブルー
Blowin' in the Wind, Shakotan blue.



▲神威岬にある募金箱

（構成：7団体2機関・代表佐藤勝次町観光協会会長）では、本町を代表する同公園の景観維持と快適な利用のために、町の3大岬（神威岬・積丹岬・黄金岬）に設置した募金箱の貴重な浄財を活用して修復事業（105万円）に取り組みました。

平成19年からの募金は、12年間で3か所分総額2,005万円に達し、貴重な財源として、町内の国定公園施設の維持管理に役立てられています。

第14回 積丹ソーラン味覚祭り

6月30日(日)開催

【会場】 美国漁港広場 【時間】 9:00～16:00

- 商工会女性部による
限定700食 浜鍋
- 旬の食材がズバリ!
浜値朝市
積丹特産品市場
- 注目のステージアトラクションは
- ◆ YOSAKOI ソーランの舞
 - ◆ 自衛隊音楽隊演奏
 - ◆ ウニ剥きコンテスト
 - ◆ 鯨場音頭 ◆ ソーラン輪踊
 - ◆ 歌謡ショー
 - ◆ 豊漁豊作餅まき ほか

● イベントに関するお問い合わせ ●
積丹ソーラン味覚祭り実行委員会
(役場商工観光課内) ☎ 44-3381
※内容が一部変更になる場合があります。

体験型観光農場を目指す若い力!

新しい地域おこし協力隊 皆川 公信さん

5月から新しい地域おこし協力隊として皆川公信さん（23歳）が町の体験型観光農場支援員として勤務しています。

新潟市出身の皆川さんは、3月に酪農学園大学（江別市）を卒業し、畜産コースを専攻。山岳ボランティア活動やクライミングサークル、海外留学も経験してきました。

皆川さんは「積丹町で羊飼いになりたい。町民の皆さんに賛同してもらえよう」に努力したい。まずは羊を飼うよりも地域との繋がりを大切にしていきたい。」と今後の抱負を話してくれました。



▲皆川 公信 体験型観光農場支援員